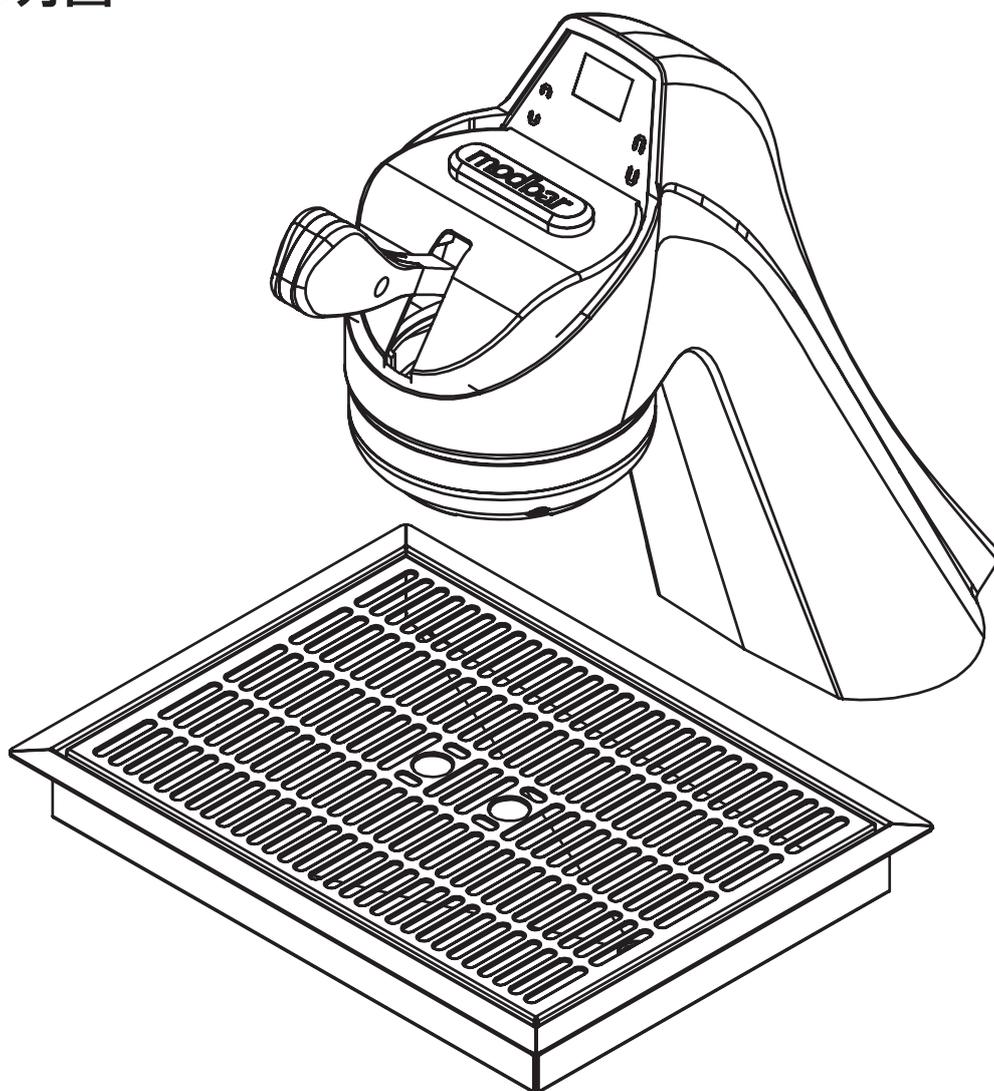


Espresso System AV

取扱説明書



目 次 頁

● 安全上の注意事項	1 ~ 2
● 各部の名称	3
● 操作方法	4
始業時の準備	4
抽出方法	4
終業時手順	4
● プログラム	5 ~ 10
● 設定方法	11 ~ 13
● お手入れ	13
● 故障かな?	14
● 仕様	14
● 製品保証書、無料修理規定	裏表紙

このたびは modbar Espresso System AV をお求めいただき、まことにありがとうございます。

ご使用になる前に、この説明書をよくお読みいただき、十分にご理解いただいたうえで正しく操作してください。

この説明書は、必要な時にいつでもお読みいただけるようわかりやすい場所に大切に保管してください。

安全上の注意事項

- ・ご使用になる前にこの安全上の注意をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ・ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。

表示内容は次の通りです。



警告

守られないと、重大な人身事故や死亡事故につながる可能性のある事柄。



注意

守られないと、人に傷害を与えたり物損事故につながる可能性のある事柄。

これらの警告・注意事項をよくお読みいただき、必ず守ってください。



警告

据付工事は、お買い上げ店または専門業者に依頼すること

ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。

アース工事を必ず行うこと

アース工事はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。

アースが不完全な場合は、感電の原因になります。(電気工事士による第3種接地工事が必要ですので、電気工事店に依頼してください。)

本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備に直接接続すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。

電気工事は「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」に従って施工し、必ず専用回線を使用すること

電源回路不良、容量不足や施工不備があると、感電や火災の原因になります。

屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電や感電の原因になります。

製品に直接水を掛けないこと

漏電、ショート、感電、錆、故障の原因になります。

機械内部の電気装置や配線に触らないこと

ヤケドや感電のおそれがあります。

電源コードを傷つけないこと

加工したり、引っ張ったり、束ねたり、また重いものを乗せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。

漏電遮断器が「OFF (切)」に作動したときは、お買い上げ店に連絡すること

無理にレバーを「ON (入)」にすると、感電や火災の原因になります。

電源プラグはほこりが付着していないか定期的に確認し、根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電や火災の原因になります。

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、各スイッチを操作しないこと

感電の原因になることがあります。

異常時はメインスイッチを「OFF (切)」にし、電源プラグを抜くか(電源プラグを使用の場合)、専用電源を切って、すぐにお買い上げ店に連絡すること

異常のまま運転を続けると、感電や火災の原因になります。

ホットウォータースイッチおよびスチームワンドレバーを操作するときは、熱湯ノズル、スチームワンドがドリフトレーに向いているか確認すること また、顔や手などに向けないこと

ヤケドの原因になります。

顔や手、または他人にスチームワンドを向けないこと

ヤケドの原因になります。

容器にコーヒー、スチーム、熱湯を取り出す場合、容器はドリフトレー上に置くこと

持ったまま取り出すと、ヤケドの原因になります。

修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理は行わないこと

異常動作をしてケガをしたり、修理に不備があると感電や火災の原因になります。

改造は絶対に行わないこと

改造されると、水漏れや感電、火災の原因になります。

移設は専門業者か、お買い上げの店に相談すること

据え付け不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。

廃却は専門業者か、お買い上げの店に依頼すること

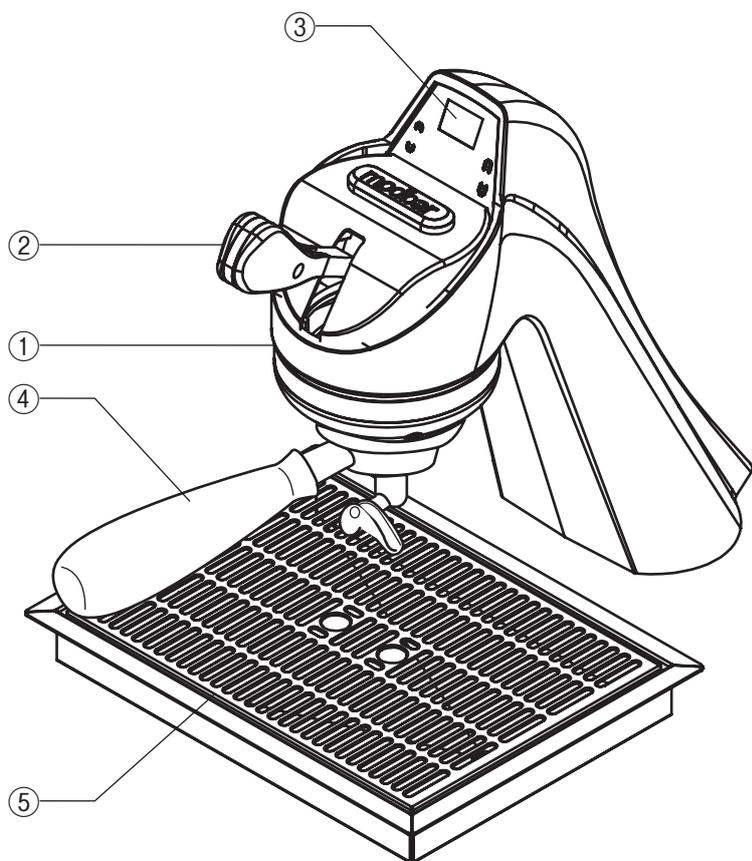
放置しますと、幼児などがケガをする原因になります。

安全上の注意事項

注 意

床面が丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること 据え付けに不備があると、水漏れや転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。
直射日光の当たる所や、周囲の温度が 32℃以上の高温になる所には据え付けないこと 電気部品の故障の原因になります。
水をこぼしても良い所に据え付けること 使用中にコーヒーや湯、蒸気などが周囲に飛び散ることがありますので、濡れると不都合なところでは、防水処理をしてください
可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置かないようにすること スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。
熱器具の近くに据え付けたり、機械の上に熱器具を乗せたりしないこと 熱で本体が損傷して故障の原因になります。
凍結の恐れのある場所へは据え付けないこと 機械の故障の原因、および給水管の破裂から浸水し、周囲を濡らす原因になることがあります。 凍結の恐れのある場所への据え付けの場合は、お買上げ店にご相談ください。
本機の上に重量物や水を入れた容器を置かないこと 落下してケガをしたり、こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電の原因になることがあります。
製品にもたれたり、乗ったりしないこと ヤケドや製品転倒によるケガの原因になります。
給水に使用する水は、必ず飲料水を使用すること 他の水は、健康障害の原因になることがあります。
水道圧力は、流れている状態で 1.5kg/cm² 以上で使用すること 水圧が低いと、機械は正常に作動しません。1.5kg/cm ² 以下の場合は、お買上げ店にご相談ください。
断水の際はメインスイッチを「OFF (切)」にし、水道栓を閉めること 開けておくと通水時「赤水」が発生し、不衛生な水が機械に給水されます。
断水後や定休日明けの使用前には、必ず機械内部の水を入れ替えること 水の腐敗から、健康障害の原因になることがあります。
スチームノズルは、装着してある断熱ゴム以外の金属部分に直接手を触れないこと ヤケドの原因になることがあります。
一日の営業終了後は、必ず接液部分および部品は洗浄すること 洗浄しないと雑菌が繁殖し、健康障害の原因になることがあります。
自動洗浄以外の掃除や点検の時は、必ずメインスイッチを「OFF (切)」にして、専用電源も切ること 感電したり、ヤケドの原因になることがあります。
電源プラグを使用している場合、プラグを抜くときに電源コードを持って抜かないこと 必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災の原因になります。
付属の専用液体洗浄剤を取り扱うときは、ゴム手袋を着用すること 素手で取り扱うと、手荒れ原因になることがあります。
一週間以上ご使用にならない場合は、安全のためメインスイッチを切って、本機専用電源も「OFF (切)」にし、電源プラグを使用の場合はコンセントから抜くこと 発熱や発火の原因になることがあります。
排水管に詰まりがないか始業時に点検を行うこと 排水管が詰まると、漏水から周囲を濡らす原因になることがあります。
漏電遮断器は月に 1 回、動作確認すること 漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になることがあります。
本機を他に売ったり、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つところにテープ止めすること

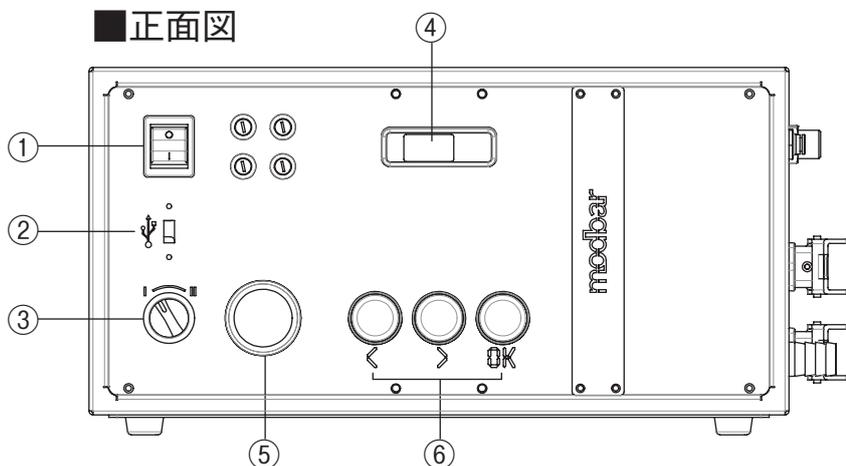
各部の名称とはたらき



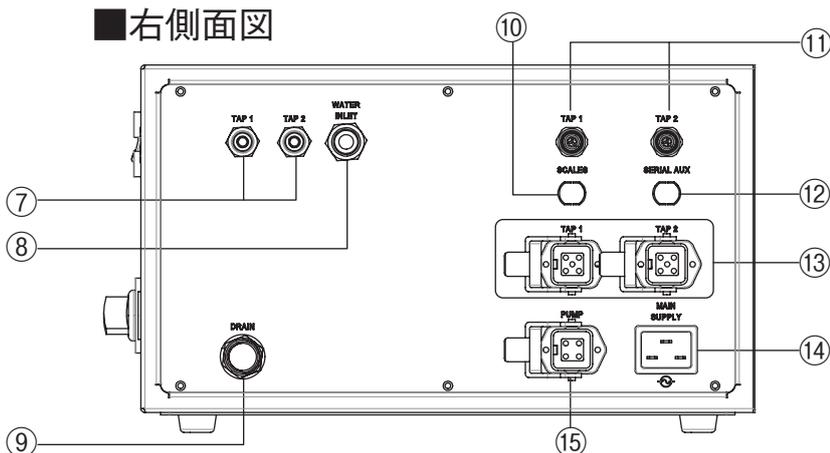
【抽出部】

- ① エスプレッソ抽出装置
- ② レバーハンドル
- ③ ディスプレイ
- ④ ポルタフィルター
- ⑤ 排水トレイ (別売オプション)

■ 正面図



■ 右側面図



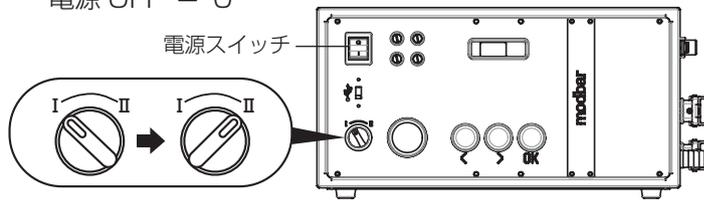
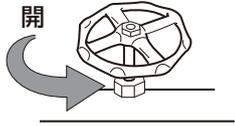
【モジュール部】

- ① 電源スイッチ
- ② USB ポート
- ③ ヒータースイッチ
- ④ ディスプレイ
- ⑤ 圧力計
- ⑥ 操作ボタン
- ⑦ エスプレッソタップ接続部
- ⑧ 給水接続部
- ⑨ 排水接続部
- ⑩ スケールケーブル接続部
- ⑪ エスプレッソタップ接続部(低電圧)
- ⑫ シリアル AUX 低電圧
- ⑬ エスプレッソタップ接続部(高電圧)
- ⑭ 電源コード差込口
- ⑮ ポンプコード接続部

操作方法

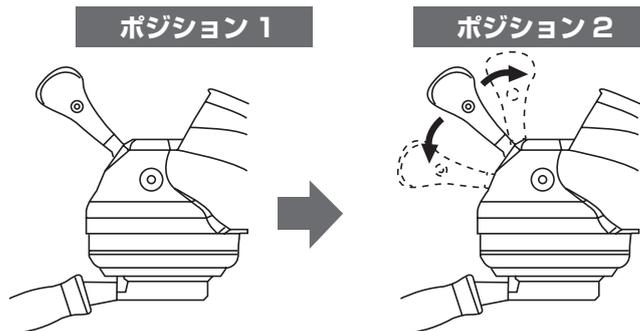
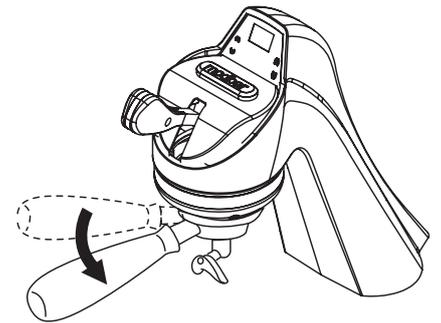
始業時の準備

- 1 水道の元栓を開きます。
- 2 モジュール部前面左の電源スイッチを「I」にします。
電源 ON = I
電源 OFF = 0
- 3 モジュール部前面左のヒータースイッチを「II」の位置に回します。
- 4 ディスプレイが「OFF」表示になったら、いずれかのボタンを押します。
- 5 約5分後、操作ボタンが点灯に変われば適温です。



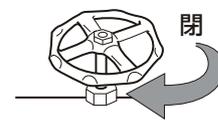
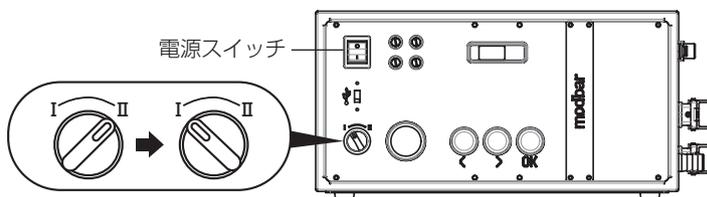
抽出方法

- 1 ポルタフィルターが冷たい時は、抽出したコーヒーがぬるくなりますので、オートリンス（11 ページ参照）や抽出動作を行い、熱湯だけを出し、ポルタフィルターをあらかじめ温めてください。
- 2 ポルタフィルターのフィルターバスケット内に、適量のコーヒー粉を入れてください。
- 3 フィルターのフチについた粉は手の平で拭き落としてください。
- 4 ポルタフィルターを左約 40° 位の方向よりエスプレッソ抽出装置に入れ、右方向へ止まるまで回してください。
- 5 抽出口の下にカップを置き、コーヒーボイラー温度の適温を確認し、レバーハンドルをポジション 2 に動かして抽出してください。



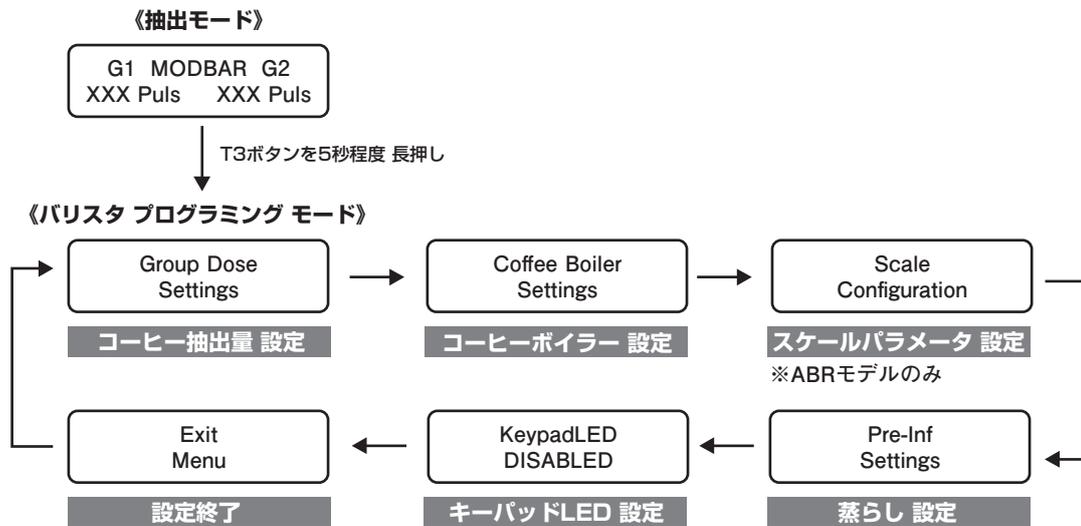
終業時手順

- 1 モジュール部前面左のヒータースイッチを「I」の位置に回します。
- 2 モジュール部前面左の電源スイッチを「0」にします。
電源 ON = I
電源 OFF = 0
- 3 水道の元栓を閉めます。



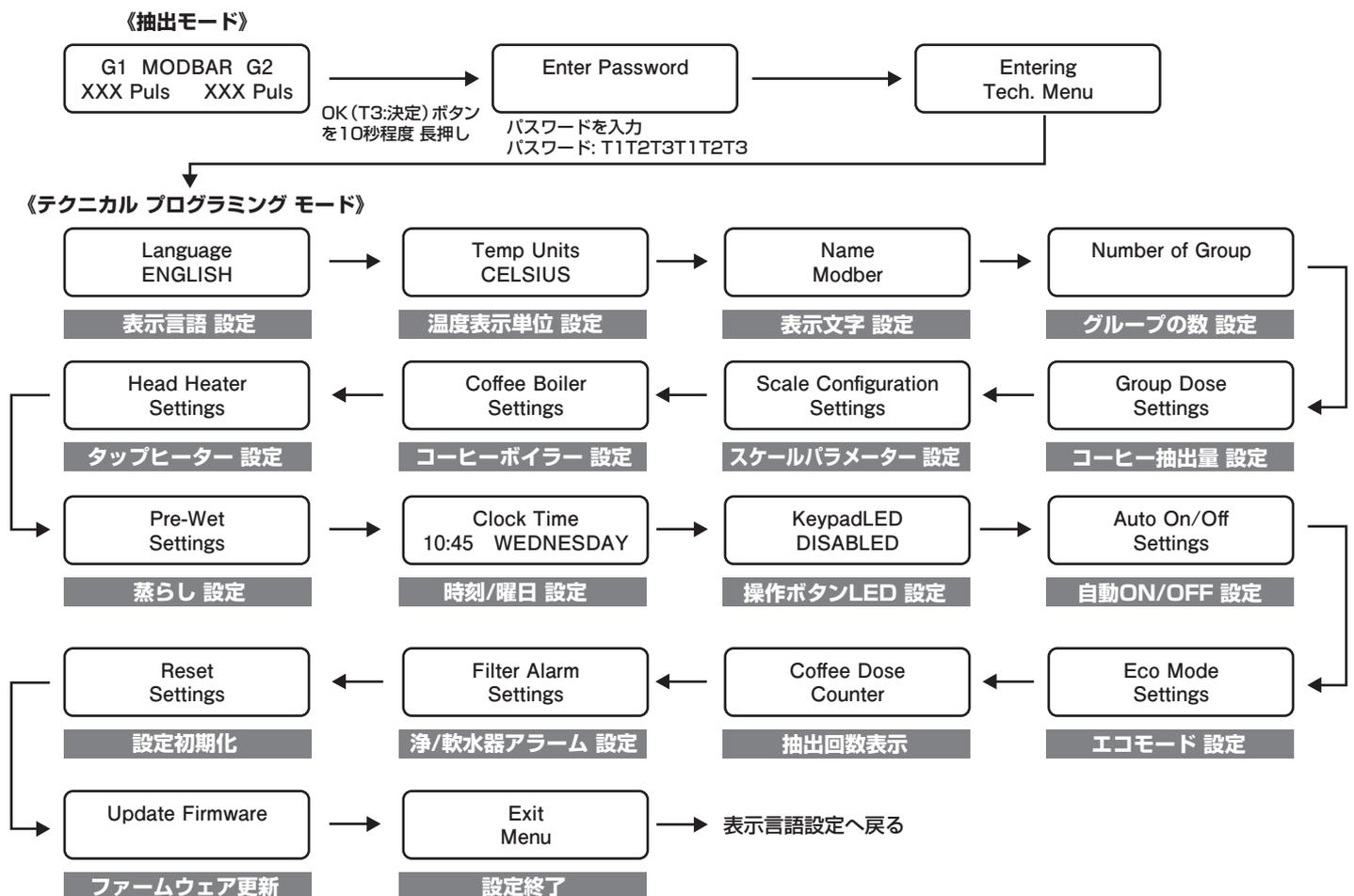
プログラム

バリスタ・プログラマー一覧



各項目の設定を行うには、設定したい項目が表示されている時にT3ボタンを押します。
 <バリスタ プログラミング モード>から<抽出モード>に戻るには、T2ボタンとT3ボタンを同時に押します。
 もしくは、"Exit Menu" でT3ボタンを押しても<抽出モード>に戻れます。

テクニカル・プログラマー一覧



各項目の設定を行うには、設定したい項目が表示されている時にT3ボタンを押します。
 <テクニカル プログラミング モード>から<抽出モード>に戻るには、T2ボタンとT3ボタンを同時に押します。
 もしくは、"Exit Menu" でT3ボタンを押しても<抽出モード>に戻れます。

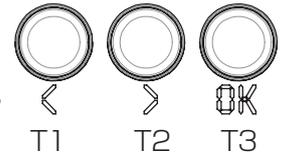
(バリスタ・プログラム) プログラム

バリスタ・プログラムでは以下の設定ができます。

モジュール部の操作ボタンがプログラムボタンになります。

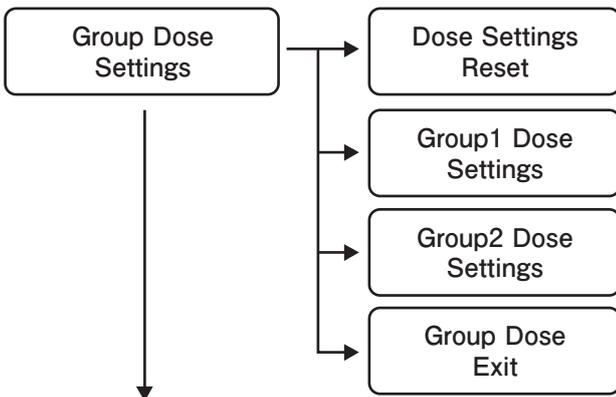
各メニューでは < (T1:戻る)ボタン、> (T2:進む)ボタン、OK (T3:決定)ボタンで操作します。

>ボタン、OKボタンを同時に押すと、いつでもプログラムを終了できます。



バリスタ・プログラム

コーヒー抽出量の設定



各抽出ボタンのコーヒー抽出量をリセットできます。

各抽出ボタンのコーヒー抽出量を設定できます。

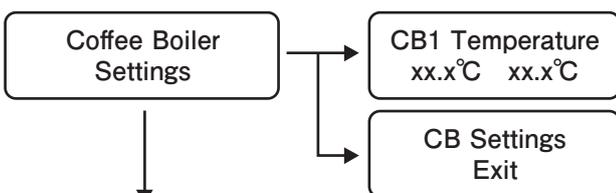
※設定方法はP.11・12・13をご確認ください。

※タップ追加時のみ表示

※設定方法はP.11・12・13をご確認ください。

コーヒー抽出量の設定を終了します。

コーヒーボイラーの設定

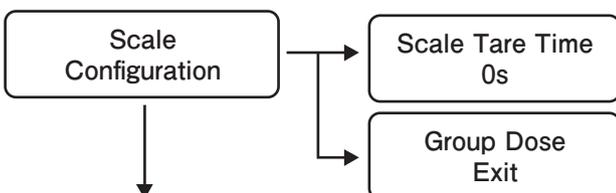


コーヒーボイラーの制御温度を設定できます。

左の表示：現在のコーヒーボイラー内湯温を表示
右の表示：設定温度

コーヒーボイラーの設定を終了します。

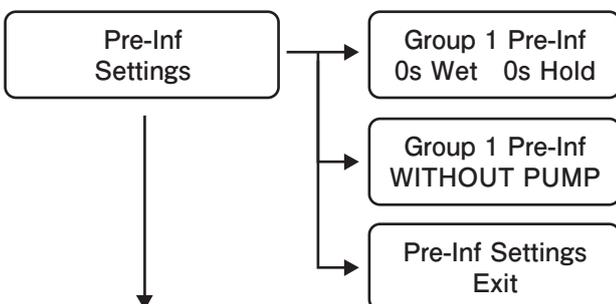
スケールパラメーターの設定 (ABR仕様のみ)



抽出ボタン押下後、計量リセットを行うまでの時間を設定できます。

スケールパラメーターの設定を終了します。

蒸らしの設定



各抽出グループごとに蒸らし時間を設定できます。

0s Wet : 蒸らし抽湯量……蒸らし時の湯量を抽出時間(秒)で設定できます。

0s Hold : 蒸らし待ち時間……蒸らし時の待ち時間(秒)を設定できます。

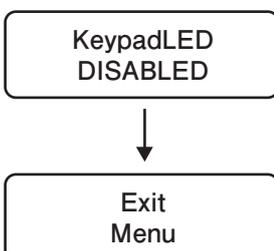
ポンプのあり、なしを設定できます。

WITH PUMP ……………ポンプあり

WITHOUT PUMP……ポンプなし

蒸らしの設定を終了します。

キーパッドLEDの設定



キーパッドのLEDを有効/無効にできます。

ENABLED : 有効

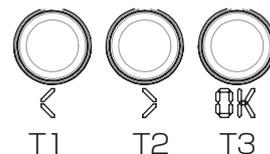
DISABLED : 無効

プログラムを終了します。

※> (T2:進む)ボタン、OK (T3:決定)ボタンを同時に押すことでどの画面からでもプログラムを終了できます。

プログラム (テクニカル・プログラム)

テクニカル・プログラムでは以下の設定ができます。
モジュール部の操作ボタンがプログラムボタンになります。
各メニューでは < (T1:戻る)ボタン、> (T2:進む)ボタン、OK (T3:決定)ボタンで操作します。
>ボタン、OKボタンを同時に押すと、いつでもプログラムを終了できます。



テクニカル・プログラム

表示言語の設定

Language
ENGLISH

表示される言語を選択できます。

ENGLISH : 英語 DEUTSCH : ドイツ語 ESPANOL : スペイン語
FRANCAIS : フランス語 ITALIANO : イタリア語

温度表示の単位設定

Temp Units
CELSIUS

表示される温度の単位を選択できます。

CELSIUS : 摂氏(°C)
FAHRENHEIT : 華氏(°F)

表示文字の設定

Name
Modbar

抽出モード時にディスプレイに表示される文字を入力できます。

使用可能文字: a~z, A~Z, (空白), 0~9
文字数: 10文字 初期設定: Modber

コーヒー抽出量の設定

Group Dose
Settings

Dose Settings
Reset

各抽出ボタンのコーヒー抽出量をリセットできます。

Group1 Dose
Settings

各抽出ボタンのコーヒー抽出量を設定できます。

※設定方法はP.11・12・13をご確認ください。

Group2 Dose
Settings

※タップ追加時のみ表示

※設定方法はP.11・12・13をご確認ください。

Group Dose
Exit

コーヒー抽出量の設定を終了します。

スケールパラメーターの設定 (ABR仕様のみ)

Scale
Configuration

Auto Offset
ENABLED

抽出予測機能を有効/無効にできます。

ENABLED : 有効...抽出予測機能を有効にします。
DISABLED : 無効...抽出予測機能を無効にします。

Scale Tare Time
0s

抽出ボタン押下後、計量リセットを行うまでの
時間を設定できます。

Group Dose
Exit

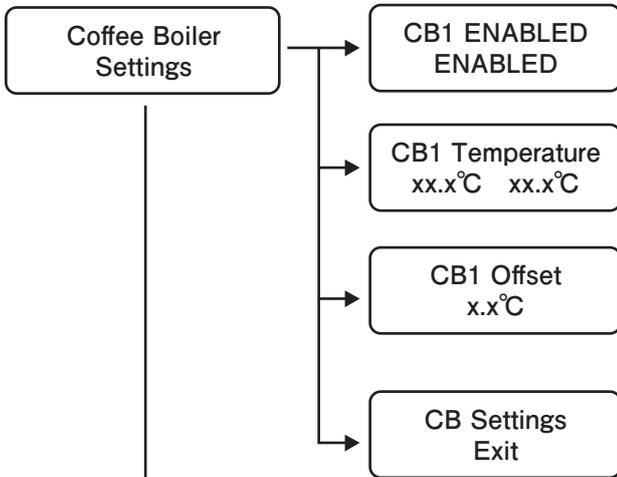
スケールパラメーターの設定を終了します。

コーヒーボイラーの設定へ

(テクニカル・プログラム) プログラム

テクニカル・プログラム

コーヒーボイラーの設定



コーヒーボイラーの設定を有効/無効にできます。

ENABLED : 有効・・・コーヒーボイラーの機能を有効にします。
DISABLED : 無効・・・コーヒーボイラーの機能を無効にします。

コーヒーボイラーの制御温度を設定できます。

左の表示 : 現在のコーヒーボイラー内湯温を表示
右の表示 : 設定温度

※Coffee Boiler 1 が DISABLED のときは、このメニューは表示されません。

コーヒーボイラー設定温度と抽出口湯温との温度補正值が設定されています。

設定範囲: -15.0~15.0 °C

※工場出荷時に設定されていますので、変更しないでください。

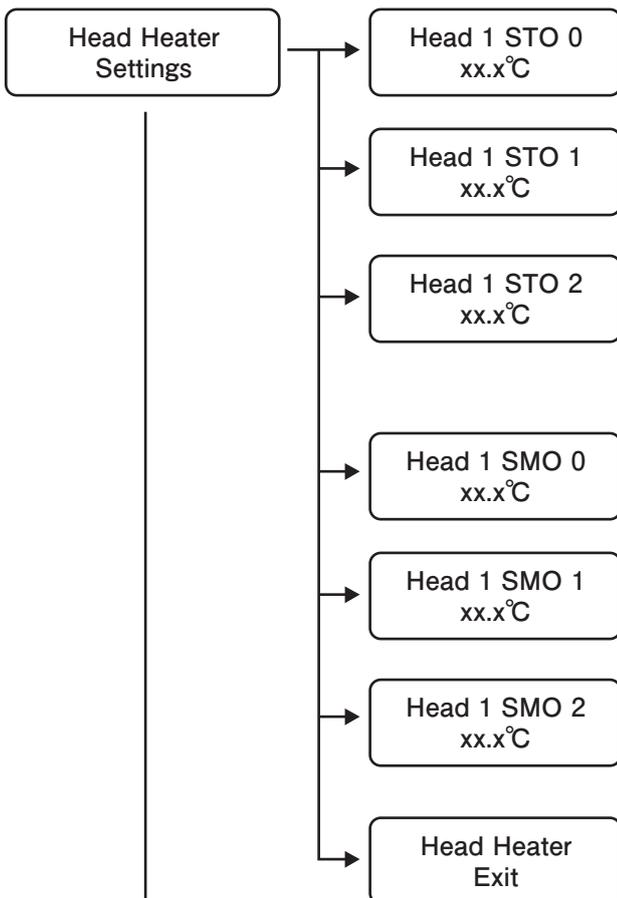
変更する場合は、予め設定されていた値を記録しておいてください。

※Coffee Boiler 1 が DISABLED のときは、このメニューは表示されません。

コーヒーボイラーの設定を終了します。

ヘッドヒーターの設定

工場出荷時に設定されていますので、変更しないでください。



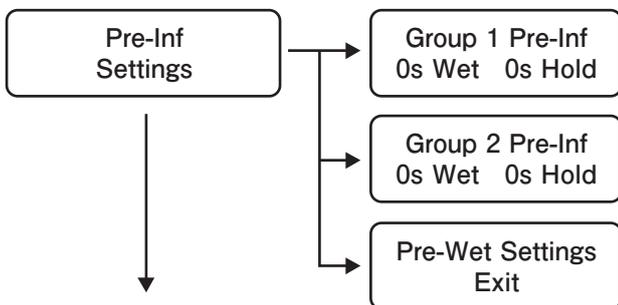
ヘッドヒーターの設定を終了します。

蒸らしの設定へ

プログラム (テクニカル・プログラム)

テクニカル・プログラム

蒸らしの設定



各抽出グループごとに蒸らし時間を設定できます。

0s Wet : 蒸らし抽湯量……蒸らし時の湯量を抽出時間(秒)で設定できます。
0s Hold : 蒸らし待ち時間…蒸らし時の待ち時間(秒)を設定できます。

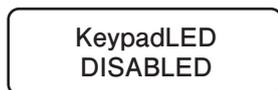
蒸らしの設定を終了します。

時刻/曜日の設定



時刻と曜日を設定できます。

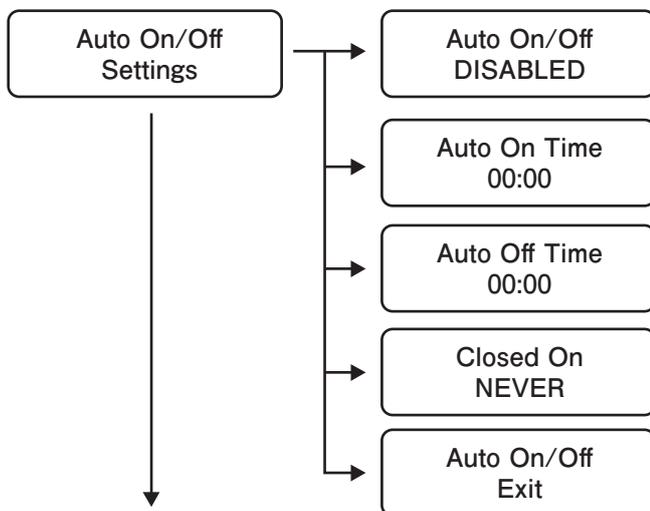
操作ボタンLEDの設定



操作ボタンのLEDを有効/無効にできます。

ENABLED : 有効
DISABLED : 無効

自動ON/OFFの設定



自動ON/OFFの機能を有効/無効にできます。

ENABLED : 有効
DISABLED : 無効

自動ONの時刻を設定できます。

※このメニューは Auto On/Off が DISABLED のときは表示されません。

自動OFFの時刻を設定できます。

※このメニューは Auto On/Off が DISABLED のときは表示されません。

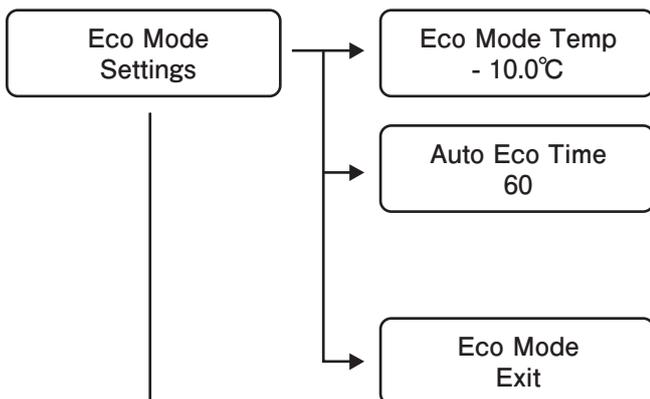
NEVER: 設定なし

MONDAY~SUNDAY: 月曜日~日曜日

※このメニューは Auto On/Off が DISABLED のときは表示されません。

Auto On/Off の設定を終了します。

エコモードの設定



エコモード時の制御温度を設定できます。

ボイラー設定温度からの差で値を設定します。
設定範囲: -30.0~5.0 °C (5°C刻み)

通常の状態から自動でエコモードになるまでの時間(分)を設定できます。

0に設定すると、自動ではエコモードになりません。

設定範囲: 0~120 分

※< (T1: 戻る)ボタン、> (T2: 進む)ボタンを同時に押すと、
すぐにエコモードになります。エコモードから通常の状態に
戻すにはいずれかのボタンを押してください。

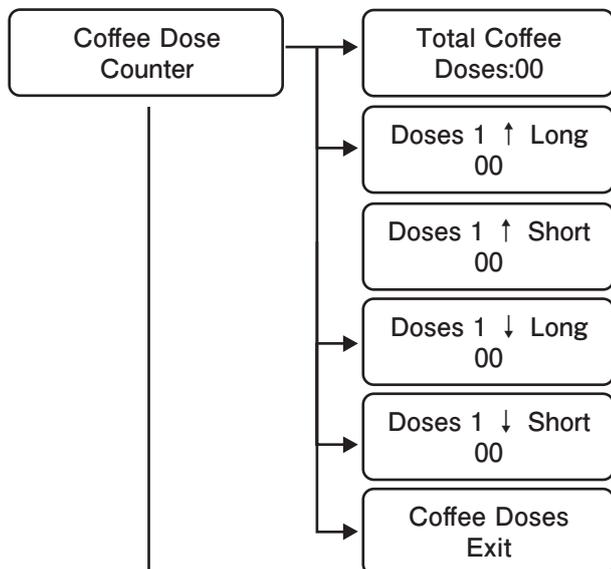
エコモードの設定を終了します。

抽出杯数の確認の設定へ

(テクニカル・プログラム) プログラム

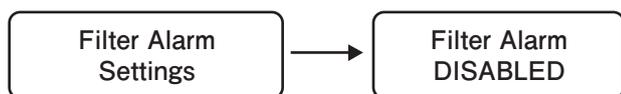
テクニカル・プログラム

抽出杯数の確認



各抽出ボタンの抽出杯数の確認ができます。

浄水器交換時期通知設定

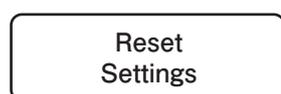


浄水器の交換通知の表示を有効/無効にできます。

ENABLED : 有効

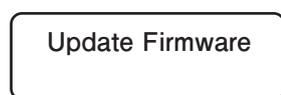
DISABLED : 無効

リセット設定



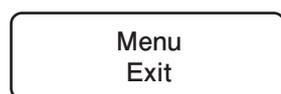
工場出荷の初期状態に戻します。

ファームウェア更新



ファームウェアの更新時に使用します。

プログラム終了



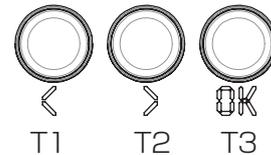
プログラムを終了します。

※> (T2:進む)ボタン、OK (T3:決定)ボタンを同時に押すことでどの画面からでもプログラムを終了できます。

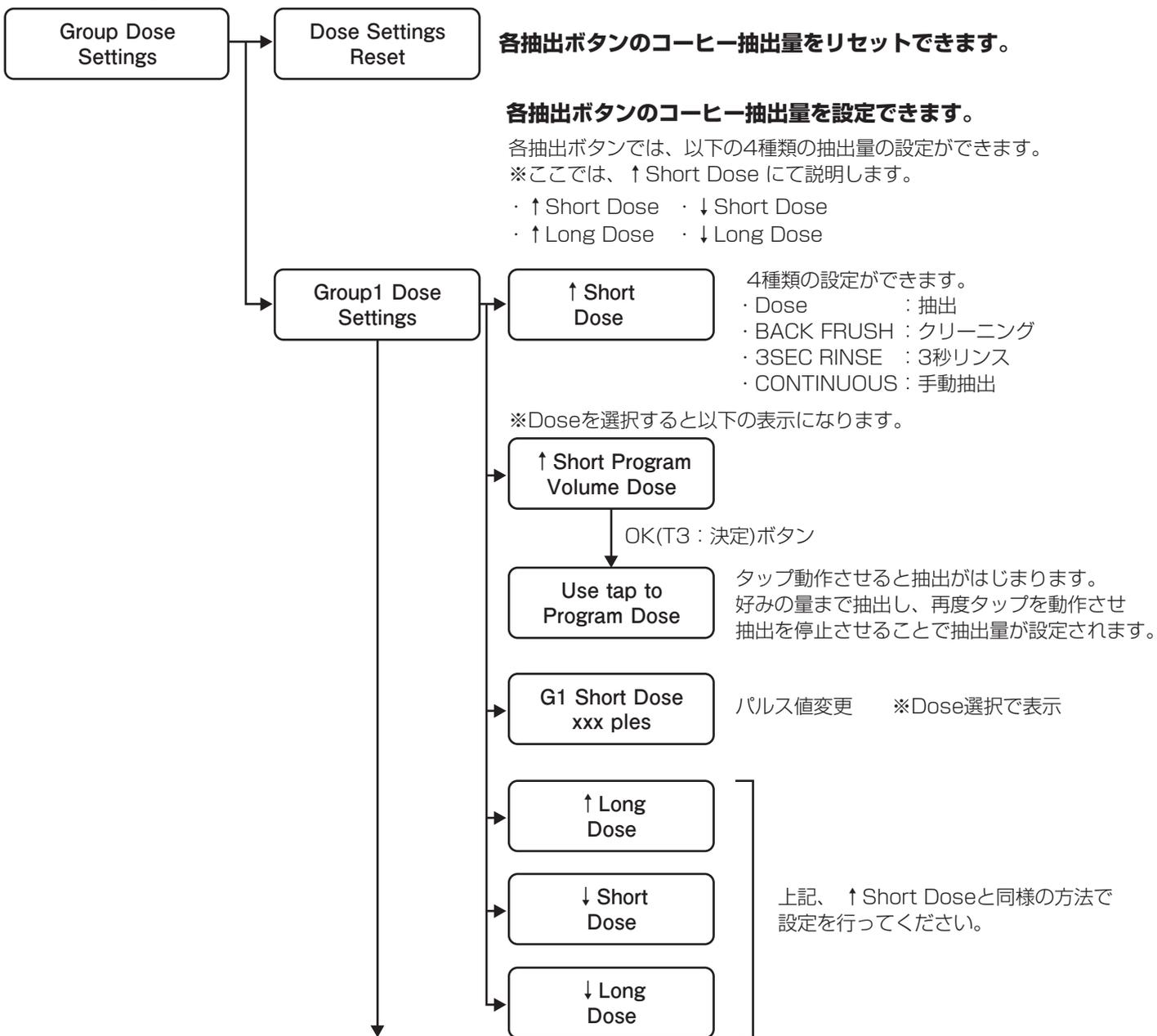
設定方法

コーヒー抽出量の設定

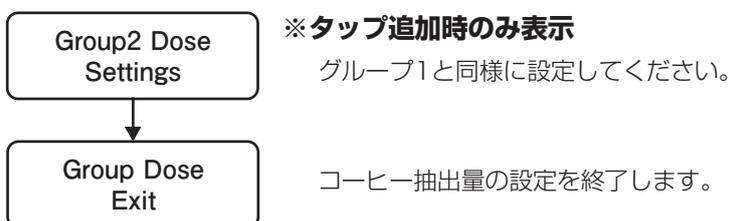
コーヒー抽出量の設定では以下の設定ができます。
モジュール部の操作ボタンが設定ボタン（プログラムボタン）になります。
<(T1:戻る)ボタン、>(T2:進む)ボタン、OK(T3:決定)ボタンで操作します。
>ボタン、OKボタンを同時に押すと、いつでもプログラムを終了できます。



グループ1抽出量の設定

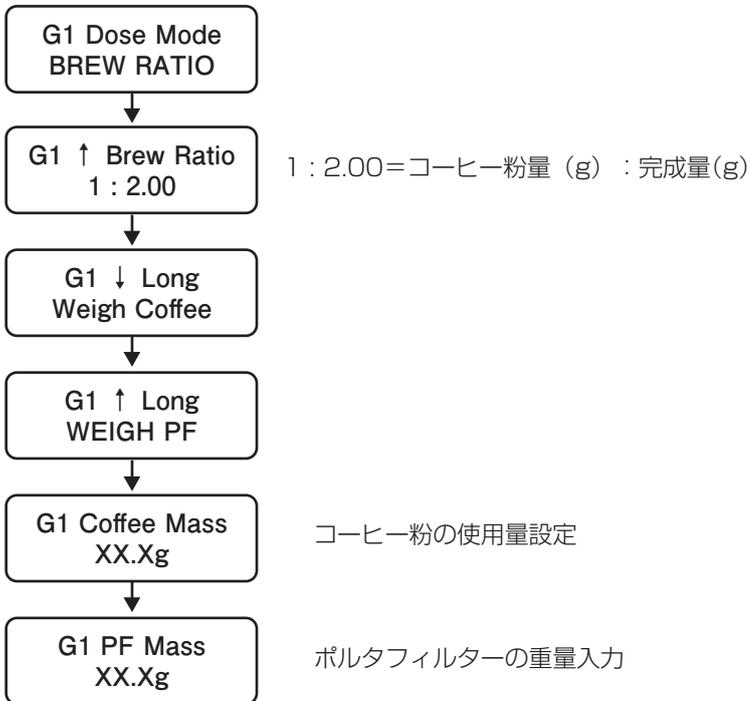
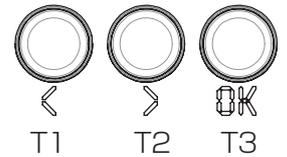


グループ2抽出量の設定



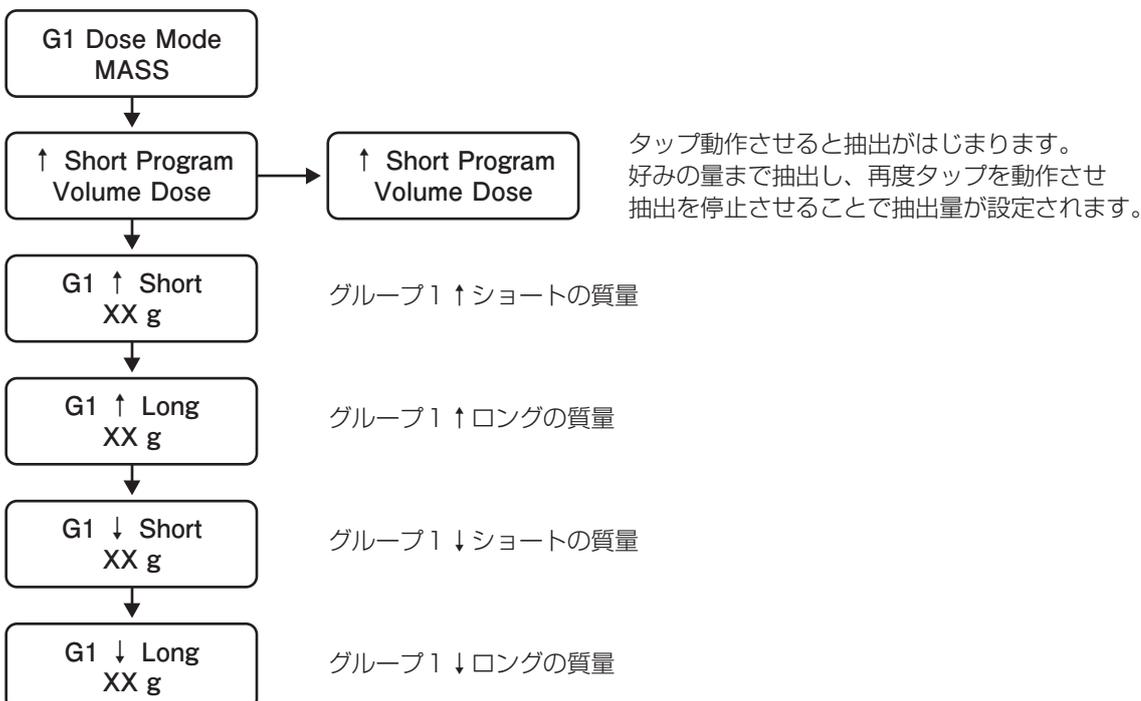
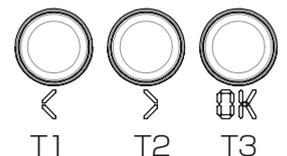
BREW RATIOの設定 ※ABRモデルのみ

BREW RATIOの設定では以下の設定ができます。
 モジュール部の操作ボタンが設定ボタン（プログラムボタン）になります。
 <(T1：戻る)ボタン、>(T2：進む)ボタン、OK(T3：決定)ボタンで操作します。
 >ボタン、OKボタンを同時に押すと、いつでもプログラムを終了できます。



MASSの設定 ※ABRモデルのみ

MASSの設定では以下の設定ができます。
 モジュール部の操作ボタンが設定ボタン（プログラムボタン）になります。
 <(T1：戻る)ボタン、>(T2：進む)ボタン、OK(T3：決定)ボタンで操作します。
 >ボタン、OKボタンを同時に押すと、いつでもプログラムを終了できます。



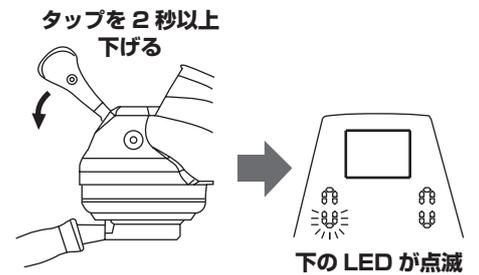
設定方法 & お手入れ

BREWRETIO の手動での設定

⚠ カリブレーションは設置時に必ず行ってください。

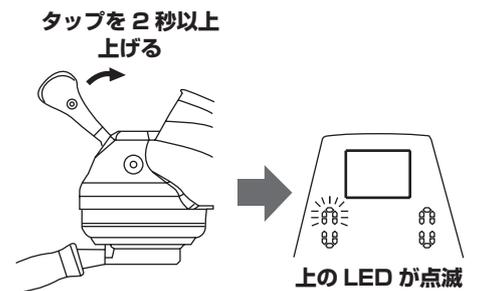
■ポルタフィルターのカリブレーション

- 1 タップを 2 秒以上下げると下の LED が点滅します。
- 2 下の LED の点滅が止まったらコーヒー粉を入れていない状態のポルタフィルターを計りの上に置きます。
- 3 自動で計量します、下の LED が消えるとカリブレーション完了です。



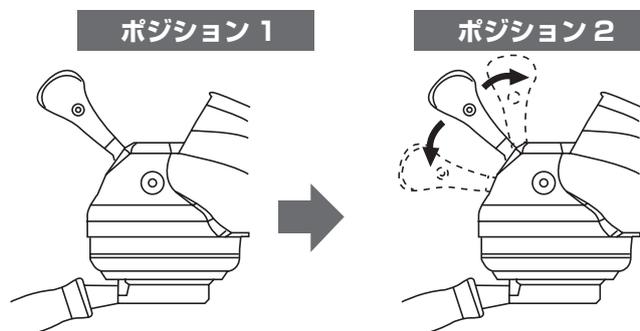
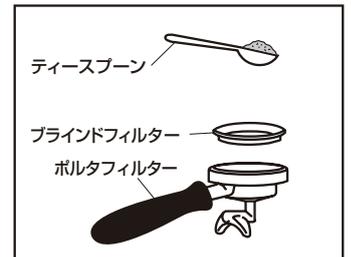
■コーヒー粉のカリブレーション

- 1 タップを 2 秒以上上げると上の LED が点滅します。
- 2 上の LED の点滅が止まり、クロノグラフの回転が止まったらコーヒー粉を充填したポルタフィルターを計りの上に置きます。
- 3 自動で計量します、下の LED が消えるとカリブレーション完了です。

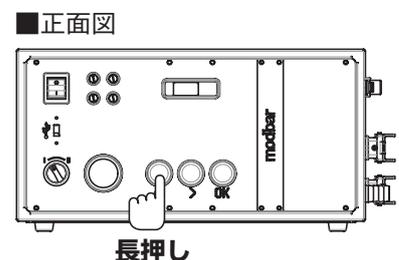


抽出装置の清掃（毎日の清掃）

- 1 エスプレッソ抽出装置より、ポルタフィルターを外してください。
- 2 コーヒーカスを捨ててください。
- 3 付属の洗浄ブラシを使用してシャワープレートの外側を洗ってください。
- 4 ブラインドフィルターをポルタフィルターに取り付け、ティースプーン 1 杯（約 8 g）の洗剤を入れます。
- 5 Group Dose Setting で「BACKFLUSH」を設定した位置への操作、もしくは操作ボタンの< (T1：戻るボタン) を長押しするとオートクリーニングが開始されます。



or



- 6 オートクリーニングの時間終了後、エスプレッソ抽出装置からポルタフィルターを外し、すすぎ洗いをしてください。
- 7 再度、ポルタフィルターをエスプレッソ抽出装置に取り付けてオートクリーニングを実施してください。（抽出装置のすすぎ洗い）
- 8 ポルタフィルター、ブラインドフィルターをぬるま湯の入った容器などに入れて洗浄してください。

故障かな？ & 仕様

故障かな？

◎ 次のような場合は故障でないことがありますので、お申しつけの前にもう一度ご確認ください。

■本体が加熱しない

ヒータースイッチがⅡの位置にあるか確認してください。

■タップでディスペンシング（一定量の注入）が行われない

本体への給水がオンになっていることを確認します。

水道の元栓が開いているか確認してください。

また、タップと本体の間の給水チューブにねじれなどが無いことを確認します。タップのディスプレイが正しく機能していることを確認します。機能していない場合は、タップの電気接続を確認します。

仕 様

形 名	ESPRESSO SYSTEM AV	
電 源	単相：200V	
消 費 電 力	3,300W	
重 量	モジュール	18kg
	タ ッ プ	10.5kg
ボ イ ラ ー 容 量	2.8L	
寸 法	Tap 部分：W137×D356×H316mm Mod 部分：W406×D378×H215mm	

注意：上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

製品保証書

型式	機番	保証期間
お客様様	お名前 様	お買上げ日より1力年
	ご住所 〒	お買上げ日
	電話 () -	* 年 月 日
*販売店名		
住所		
電話 () -		

本書はお買上げ日から上記期間中に故障が生じた場合に、本書下記記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記をご参照ください。ご販売店さまへ：*印欄は必ず記入してお渡しください。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。無料修理をご依頼になる場合には、お買上げ店にお申し付けください。
- 保証期間内でも次の場合には有料にさせていただきます。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による、故障及び損傷。
 - (ロ) お買上げ後の取付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷。
 - (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - (ト) 遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する費用。
- この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打切後7年です。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
 - ※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買上げの販売店にお問い合わせください。

ラッキ-コ-ヒ-マシ-ン 株式会社

本社 〒658-0023 神戸市東灘区深江浜町95番 TEL(078)451-8300 FAX(078)451-5777

東京本部

広域営業部 〒105-0004 東京都港区新橋6丁目1-11 Daiwa御成門ビル TEL(03)5400-3483 FAX(03)5400-5724

営業所

札幌営業所 〒004-0005 札幌市厚別区厚別東五条1丁目4番26号 TEL(011)898-3636 FAX(011)897-1467
東京営業所/東京ショールーム 〒105-0004 東京都港区新橋6丁目1-11 Daiwa御成門ビル TEL(03)5400-5720 FAX(03)5400-5723
名古屋営業所/名古屋ショールーム 〒451-0046 名古屋市西区牛島町5番4号 TEL(052)587-7678 FAX(052)587-7677
大阪営業所/大阪ショールーム 〒537-0001 大阪市東成区深江北3丁目5番7号 TEL(06)4259-2655 FAX(06)4259-2660
福岡営業所 〒813-0062 福岡市東区松島6丁目2-1 TEL(092)292-0335 FAX(092)292-0356
福岡ショールーム 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1丁目9-3 博多駅前シティビル TEL(092)292-0335 FAX(092)292-0356